

報道関係各位

SDLアプリコンテスト実行委員会

トヨタほか自動車メーカー10社が推進するSDL規格 賞金総額100万円、スマートフォンとクルマをなかよくする 「SDLアプリコンテスト2019」 開催のお知らせ

SDLアプリコンテスト実行委員会(事務局:角川アスキー総合研究所)は、多くの開発者にSDLアプリの開発に接してもらうことを目的に、「スマートフォンとクルマをなかよくする SDLアプリコンテスト2019」を開催いたします。



第1回 SDL アプリコンテストの最終審査会。グランプリと特別賞 5 作品が選出された

SDL (SmartDeviceLink:スマートデバイスリンク)は、クルマやバイクとスマートフォンを連携させ、スマホアプリからカーナビ(車載機)を操作できる、オープンソースの国際標準規格です。本コンテストでは、エンタメアプリやドライブを楽しむためのアプリ、業務用アプリなど、SDLに対応する様々なアプリを募集。アプリは四輪と二輪の両方を対象にしており、応募締め切りは10月31日となっています。本コンテストは、SDLの普及を目的としたSDLコンソーシアム日本分科会の協力で実施するもので、今回が2回目の開催となります。SDLコンソーシアム日本分科会は、自動車メーカー10社(トヨタ自動車、日産自動車、マツダ、SUBARU、ダイハツ工業、三菱自動車工業、スズキ、ヤマハ発動機、川崎重工業、いすゞ自動車)ほかで構成されています。



SDL コンソーシアム日本分科会に参加する自動車メーカー10社

【お問い合わせ】

事務局(株式会社角川アスキー総合研究所) 担当:中西 (TEL:03-5216-8125、Mail:sdl@lab-kadokawa.com)

「クルマとスマホをなかよくする SDLアプリコンテスト2019」概要

本コンテストでは、四輪と二輪の両方を対象に、SDLに対応するアプリ(Android、iOSアプリ)を広く募集します。年齢、性別、国籍等は不問で、個人・チームどちらでも応募可能です。

募集期間は7月上旬から10月31日まで。11月22日に最終審査会を開催し、グランプリには賞金50万円と副賞が、特別賞5作品には賞金10万円が贈呈されます。

- コンテスト名： クルマとスマホをなかよくする SDLアプリコンテスト2019
- 主催： SDLアプリコンテスト実行委員会(事務局:角川アスキー総合研究所)
- 協力： SDLコンソーシアム日本分科会、株式会社ナビタイムジャパン
- 後援(予定)： 独立行政法人国立高等専門学校機構、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会ほか
- 募集期間： 2019年7月上旬～10月31日(木)24:00
- 募集内容： エミュレーターか開発キット上で開発したSDL対応アプリ(既存アプリの移植、新規開発)
- 募集対象： 年齢、性別、国籍等不問。個人・チームどちらでも応募可
- 応募方法： プレゼンシートと動作解説動画をWebフォームで応募
- 審査： 審査員が新規性、UX・デザイン、実装の巧みさ等で評価
- 最終審査会： 2019年11月22日(金)
- 審査員： 暦本純一(東京大学情報学環教授)、川田十夢(AR三兄弟長男)、他
- グランプリ： 賞金50万円+副賞
- 特別賞(5作品)：賞金各10万円
- 公式サイト： <http://sdl-contest.com/>

第1回SDLアプリコンテストでは、バイク運転中の姿を撮影するアプリがグランプリに

第1回の「クルマとスマホがつながる SDLアプリコンテスト」は、2018年10月3日から2019年1月31日を応募期間として開催し、2019年3月に最終審査会を行いました。最終審査会では、運転しながら後部座席の子どもをモニタリングできるアプリや、保険会社がつくった事故サポートアプリなど、バラエティーに富む入賞10作品を審査。そして、入賞作の中から選ばれた、バイクを運転している姿を他人に撮ってもらうためのアプリ「Instaride」が、グランプリに選ばれました。



グランプリとなったアプリ「Instaride」を制作したチーム Instarideには、賞金50万円と、副賞としてヤマハ発動機電動スクーター「E-Vino」が贈呈された。

【ASCII.jp 参考記事】

「クルマとスマホがつながるSDLの世界」第1回～第10回 <https://ascii.jp/elem/000/001/768/1768875/>